



CFTC建玉報告:NY金(10月13日時点)

米商品先物取引委員会(CFTC)が16日に発表した建玉報告によると、13日時点のニューヨーク商品取引所(COMEX)金先物市場の大口投機筋(非商業部門)の買越幅は24万0671枚となり、前週比7916枚縮小。期間中に、投機筋は売り買い共にポジションを増やし、売りポジションをより多く増やしていた。

期間中のNY金は下落。トランプ米大統領が連邦最高裁判事の指名を行い、12日に米上院議会で最高裁判事指名の審議が始まるに伴い、新型コロナウイルスに対応した追加経済対策の米大統領選前の成立が困難となり、外国為替市場でドル高が進行。ドル建てNY金は割高感からの売りが入り下落した。

国際通貨基金(IMF)は13日、金融安定報告書を公表。報告書では、各国による政策的な対応によって、「今のところ、世界的な金融安定性へのリスクは抑制されている」と評価されたことも金の売り材料となった。

ただ、IMFのゴピナート主任エコノミストは同日の記者会見で、「多くの国が新型コロナウイルス危機前の経済に戻るのには2022年か23年になる」との見方を示した。中国は急速に持ち直しているものの、世界経済の回復には時間がかかると予想。世界の主要中央銀行による金融緩和姿勢が長期化すると見方が強まり、将来的なインフレ懸念が高まったことで、インフレヘッジとしての買いが入り、安値からは値を戻した。

NY金	終値	買い越し幅	
06/16	1736.5	224,348	697.8
06/23	1782.0	251,957	783.7
06/30	1800.5	266,670	829.4
07/07	1809.9	267,358	831.6
07/14	1813.4	262,428	816.2
07/21	1843.9	266,436	828.7
07/28	1944.6	236,801	736.5
08/04	2021.0	238,746	742.6
08/11	1946.3	224,053	696.9
08/18	2013.1	223,518	695.2
08/25	1923.1	221,038	687.5
09/01	1978.9	230,796	717.9
09/08	1943.2	236,473	735.5
09/15	1966.2	240,977	749.5
09/22	1907.6	219,060	681.4
09/29	1903.2	243,659	757.9
10/06	1908.8	248,587	773.2
10/13	1894.6	240,671	748.6
前週比	-14.2	-7,916	-24.6

